



JAPANESE RED CROSS TOYOTA COLLEGE OF NURSING

Vol.37

# ITOSUGI

いとすぎの丘



日本赤十字豊田看護大学

## 01 大学行事

学位記授与式・入学式

## 02 地域貢献

## 03 きらめく卒業生

## 04 学生生活

RCT☆LINK  
キャンパス紹介&  
写真で見る学生生活  
学修環境向上のための  
新たな取り組み~DX教材の導入~

## 05 Information

発行日/2023年5月

# 01 大学行事

## 学位記授与式

3月15日、看護学部・看護学研究科学位記授与式を執り行いました。看護学部133名、看護学研究科6名が学位を取得し、新たな人生への一步を踏み出しました。



### 学長式辞 学長 鎌倉 やよい

学部学生の皆さん、卒業おめでとうございます。修士課程・博士課程院生の皆さん、修了おめでとうございます。ご家族の皆様にも、心からお祝い申し上げます。

在学中にパンデミックを経験し、臨地実習や研究の遂行にも大きな影響を受ける中、新しい日常に適応した皆さんは失うものばかりではなく、自律的に学ぶ力、感染予防行動に関する知識とスキルの獲得など、得るものも大きかったように思います。卒業生・修了生の皆さんの努力に敬意を表したいと思います。

日本は今、持続可能で強靱な社会、さらに一人ひとりの多様な幸せが実現できる社会「Society5.0」を目指しています。

しかし、世界ではウクライナへの軍事侵攻により、多くの人々が命を落としています。未来の社会が平和で一人ひとりが幸福であることを願うばかりですが、私たちに何ができるのかを考える時、マクロの視点とミクロの視点をもつことが重要であると思います。本学は人道の教育理念のもとに「地球に寄り添う看護」を謳っています。マクロの視点として、地球や世界を広く俯瞰的に捉えること、同時に、個人の現実を捉えるミクロの視点から自ら冷静に判断する力を養い、医療者としてどうありたいか、皆さんの未来へ向かう目標を考えてください。

卒業・修了はゴールではなく、皆さんの長い人生の通過点であり、これからが始まりです。明確な目標を持つこと、自分の考えを表現すること、地道な努力を重ねること、「今の自分を超えていく」意志の強さが夢を実現する鍵となります。皆さんの未来に幸多からんことを祈っております。

### 卒業生答辞 看護学部卒業生代表 堀山 みたま

4年前の春、新しい仲間と出会い、看護の扉を開けました。先生方のご指導のもと少しずつ積み上げてきた4年間は、長くもありましたが、瞬く間に過ぎていったようにも感じられます。入学当初は、大学生活の半分以上をコロナウイルスと共に歩むことになるとは、予想もできないことでした。学内での講義や演習がかなわない時、先生方や職員の方々が授業形態の変更にご尽力くださいました。自宅学習が続き、時に孤独を感じることもありましたが、こうした時代に看護を学んだことで、人と人とが関わることの喜びを一層感じる事ができたように思います。



大学生活で最も思い出深い経験は実習です。様々な患者さんとの出会いがあり、おひとりおひとりと交わした言葉やおつらい中でも時折見せてくださった笑顔鮮明に覚えています。学生としてできることは何かと懸命に考えた時間は、本当に貴重なものでした。実習での学びをこれからも大切にしていきたいと思っています。

この大学で看護を学んできたという誇りを胸に、また新たな場所で、私達らしく歩んでゆきたいと思っています。



### 学生表彰

毎年、成績優秀な学生を表彰しています。

#### 令和4年度受賞者一覧

■ 学業において大変優れた成績をおさめた学生

1年生 中川 千裳 2年生 林 ひなの  
3年生 額額 由衣 4年生 木下 萌花

■ 課外活動において功績があった学生

第12回（2022年度）六大学交流会  
企画・運営委員

■ 私立看護系大学協会会長表彰

4年生 木下 萌花

本学では「卒業研究」として、興味関心をもった看護上の現象や疑問を科学的・系統的に探求する方法を学び、卒業論文としてまとめます。毎年、その中で優れた卒業論文を表彰しています。

■ 最優秀卒業論文に選ばれた学生

4年生 荒川 莉子  
「シャボンラッピングのリラクゼーション効果について」  
4年生 吉安 爽乃  
「特別支援学校の学校看護師が抱える課題」  
4年生 二村 圭祐  
「災害ボランティア組織で活動をするなかでの困難とその対処方法に関する研究」

## 入学式

4月5日、看護学部132名、看護学研究科5名の新入生を迎えました。



### ■ 新入生誓いのことば 新入生代表 菅井 春花

今年の2月6日、トルコ南部で地震が起きた際、各国の赤十字社が一日と経たないうちに様々な支援を行っていたということを知りました。国境を越えて、最も助けを必要とする人々のために迅速な行動をとる姿は、人道の精神そのものだと感じました。自分の立場から、できることを躊躇わずに行動に移すことは、看護師を目指す私たちにとっても大切なことであると思います。

コロナ禍が収束していくのに伴い、これからは、人々の価値観や行動も多様になっていくと考えられます。そんな中で、私は相手の意思を尊重しながら、医療従事者として支援を行える看護師になりたいと考えています。そのために、看護の知識はもちろん、人道の精神についての理解も深めていきたいです。

今日から私たちの看護師としての学びが始まります。力を貸してくださる方への感謝と、今感じている情熱を忘れず、同じ場所で学ぶ仲間と共に努力を重ね、成長していくことを誓います。



### ■ 新入生の皆さんへメッセージ

学部長 山田 聡子



ご入学おめでとうございます。本学での大学生生活がはじまりましたね。

自然豊かでのんびりしたキャンパスはいかがでしょう。キャンパス探検は済みましたか？ひとりでホッとひと息つけるスペースや、ディスカッションができるスペースなど、みなさん思い思いに過ごせる場所があります。ぜひ、お気に入りの場所を見つけてください。

大学では、自律的に学び進めることが求められます。高校生までの学び方とは違うため不安になるかもしれません。そんな時は、チューター教員や先輩に相談をしてみましょう。また、同級生とも協力をしましょう。本学は人道を基本理念にしています。お互いを大切な存在として認め、思いやり助けあいましょう。みなで一緒に充実した大学生生活にしていきましょう。

研究科長 百瀬 由美子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学部生の皆さんは、新型コロナウイルスの世界的パンデミックにより、様々な制限を受け新たな生活様式を受け入れざるを得ない高校生活を過ごされたことと思います。これから始まる大学生活では、様々なことに挑戦し、経験を重ね、「人道」の理念のもと人のいのちと健康・尊厳を守り、世界で活躍する看護師を目指し、楽しく過ごして下さい。大学院生の皆さんは、仕事との両立を図りながら、臨床で感じた疑問の解明のため、多くの文献を読み、様々な角度から解釈や分析を重ね、研究の醍醐味を学んでください。研究科での仲間との知的交流から得られる体験は貴重な財産になることと思います。目標の達成に向かって励んで下さい。



自治会長 牛田 奈那

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんのご入学を心より歓迎します。

大学生になって、愛知県に初めて住む方や親元を離れて暮らす方もいらっしゃるかと思います。新生活への不安や心配があるかもしれませんが、皆さんの周りには同じ学年の仲間やサークルの先輩など、支えてくれる人がたくさんいるので安心して下さい。感染症対策のため大学内の活動制限もありますが、私たち自治会は「学生が主体的に大学生活をよくするための活動を行う」をコンセプトに、皆さんをサポートしていきます。4年間の大学生活を楽しみましょう。



学生自治会メンバー

## ■ 愛知県赤十字大会・日本赤十字社名誉副総裁による御視察



11月2日に愛知県芸術文化センターにて愛知県赤十字大会が開催されました。この大会は赤十字に多大な貢献をいただいた個人・団体を表彰するもので、5年ぶりに開催され、本学2年生が合唱および会場スタッフとして参加しました。感染対策上、会場での合唱はできなかったため、事前に本学にて録音した「あこがれの赤十字」が会場で披露されました。



また、日本赤十字社名誉副総裁の寛仁親王妃信子殿下が本学にて血圧測定及び脈拍測定の演習の様子を御視察されました。妃殿下から優しくお声掛けいただき、緊張していた学生たちも次第に笑顔になり、一生懸命ご質問に答えていました。

## ■ 海外の赤十字看護大学(タイ)とのオンライン交流

11月11日にタイ赤十字看護大学と本学をZoomで繋ぎ、両大学合わせて90余名の学生が英語で交流しました。本学学生が日本で流行している映画やファッション等を発表したところ、タイの学生は医療関連の映画に対する興味が特に高く、熱心に見入っていました。タイの学生からは演習風景を含めた学生生活の発表等があり、相互に質問し合い活発な交流となりました。最後には学生同士でSNSの連絡先等を交換し、個々での親交に繋げていました。

2022年度から互いの教員の共同研究が始まっており、2023年度からは学生の受入・派遣も再開予定であり、一層の交流が深まりそうです。



## 02 地域貢献

### ■ 宮口一色健康測定会



11月19日に宮口一色区民会館で健康測定会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止していたため、3年ぶりの開催となりました。

当日は感染対策をとりながら、血圧・握力・骨量の測定と測定結果の説明およびミニ講座を実施しました。ミニ講座のテーマは、「明日の元気にフレイル（心と身体の虚弱）予防！」でした。参加者の中には3年前の測定結果を持参して今回の結果と比較している方もあり、健康への関心の高さが窺えました。

終了後のアンケートでは、「交流の場になるため続けて欲しい」、「話の内容がよかった」、「測定時にアドバイスをもらえてよかった」などの感想が多く聞かれました。

## 03 きらめく卒業生

今回は、看護師として働きながら、大学院でがん看護専門看護師を目指す岩本舞さんにインタビューしました。インタビューの教員に「先生、私、楽しそうでしょ？」と話す岩本さんの笑顔がとても印象的でした。

医療法人愛和会愛和病院勤務  
新潟県立看護大学大学院2年生  
(がん看護専門看護師コース)

岩本 舞さん(長野県在住)  
2014年3月卒業(8期生)



### Q 本学卒業後の看護師キャリアについて

**A** 卒業後は地元に戻り、長野日赤の血液内科・眼科の混合病棟に6年半勤務しました。長野日赤では治療中心の看護をしていましたが、緩和ケア病院に送り出した終末期の患者さんが亡くなった後、その病院から届いた資料の中に「好きなビールを飲むことができました」「犬と一緒に寝ながら亡くなりました」と記載されているのを見て、“その人らしさに合わせた最期・看取りができる病院で働きたい”と思うようになり、緩和ケア病院(現在の勤務先)に移りました。



職場の仲間と(左が岩本さん)

### Q 大学院で学ぼうと思ったきっかけは？

**A** きっかけは2つあります。1つ目は、看護をする中で感じた悔しさです。患者さんにしてあげたいケアや必要なケアがあっても、そのエビデンスを伝える力がないために周囲の理解が得られず実践できないことがあり、とても悔しい思いをしました。その時に師長さんから大学院という選択肢を提示していただきました。2つ目は、研修でベナーの看護論について勉強したことです。研修を受けて初めて自分の中で理論と実践がつながり、「理論ってこうやって使うんだ」と清々しい気持ちになりました。そのため、自分の看護を客観的に見るためにも勉強したいと思い、進学を決めました。

### Q 学生時代の経験で心に残っていることや看護師になって役立っていることは？

**A** 基礎看護学の先生が「患者さんを生活者としてみなさい」と繰り返し仰っていたことをよく覚えています。緩和ケア病院で働くようになって、この言葉の意味をすごく考えるようになりました。人生の終末期を過ごす患者さんを“生活者”という視点で見たときに、今までその人が大切にしてきたこと、例えば「毎朝カーテンを開けることが一家の中での自分の役割なんだ」と語る患者さんには、毎朝病室のカーテンを開けられるようにベッドを配置したり、入院前と同じ時間に髭剃りがしたいと望む患者さんには実現できるように環境を整えたりと、患者さん一人ひとりの文化や生活習慣を大切にサポートしたいと強く思うようになりました。



在学時(右から4番目が岩本さん)

その人らしく生きられるように看護することは、赤十字の基本原則である「人道」とも通ずることだと思っています。

### Q 大学院生活における楽しみや苦勞は？

**A** 大学院生活は家族や友人・同僚に支えられています。同級生とは課題や論文のことで情報交換したり、zoom飲み会をしたりしています。昨年度の実習もホテル暮らしをしながら通いましたが、実習先の方々も優しく本当に楽しかったです。また、勤務先は、大学院修了後6年間貢献(勤務)するという約束のもとに、学費や交通費を支援してくれています。大学院での授業や実習も勤務扱いにしてくれるため、仕事も学業もとても充実しています。



### Q 目指す看護師像や今後の目標は？

**A** 私は、患者さんの持つ強みを引き出す看護を目指しています。患者さんから価値観や信念など大切にしてきたことを聞き、人生の残された時間をありのままの姿で生きることを共に考えながら実現していきたいと思っています。患者さんと同じ体験をすることはできないけれど、患者さんの体験を感じ取り、同じ視点に立って一緒に怖さや不安、喜びを感じられる看護師でありたいです。また、自分だけでなく看護経験が豊富な同僚も日々悩んだり悔んだりしているので、同僚が必要と考える看護を私が大学院で学んだ知識(エビデンス)で意味付けすることで実践に繋げていきたいと思っています。

### 在学生へのメッセージ

今振り返ると、私が学部学生の時は“(教員や実習指導者に)上手に答えないといけない”、“しっかり記録を書かないといけない”ということに必死で、患者さんのための実習ができていなかったと思います。そのため、皆さんには患者さんとたくさん話して、“患者さんはどんなことを体験しているのかな”ということを少しでも考えられるような実習をしてほしいです。そうすることで、看護の世界観が広がると思います。

## 04 学生生活

### RCT☆LINK

4年 高柳 ひかり

新型コロナウイルスの影響で大変な状況が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。私は新型コロナウイルスの感染拡大によって実習期間の制限や病棟閉鎖の影響を受けましたが、楽しく充実した実習を送っています。

大学に入学してからの3年間で、私の考える看護は大きく変化しました。実習当初は、不安だらけでドキドキしながら実習を行いました。しかし、領域別実習を重ねていくことで「患者さんと関わる時間が好き」と気づくことができました。新生児の看護から終末期の緩和ケアまで幅広い世代を対象とし、看護を提供してきましたが、それぞれの求める看護は異なり、患者さん本人の個性性も考慮していくことが重要だと学びました。また、短い訪室の機会の一回一回を常に大事にし、どのように患者さんと関わるのかを考え続けることで、患者さんとの時間で把握できる情報も増えるとともにコミュニケーションを活発にすることができました。患者さんと実際に関わり、患者さんの強みや必要な看護を見つけ出すことは、電子カルテの情報よりはるかに多い情報で、その情報をもとにすると患者さんに合った看護につながると気づきました。

まだ実習は続くので、目の前の患者さんに対して何ができるのかを考え、行動していきたいと思います。そして、常に成長し続けていけるような大学生活にしていきます。また、残り1年の大学生活なので、周りで切磋琢磨しながら共に励む友人、支えてくれる周囲の人、これから出逢う人たちと充実した時間を過ごしていきたいと思います。

⇒次回RCT☆LINKは3年亀谷愛さんです



後列左が高柳さん

### キャンパス紹介&写真で見る学生生活



#### 「ラーニングポッド」

ラーニングポッドは、机と椅子・パソコンが常設された自習スペースです。教員の研究室がある研究棟内に6ヶ所あります。ここでは、会話しながら学習できるため、グループワークの課題が出た時や、教員との学習相談時に使用されます。

11月に入ると4年生の姿をこの場所で見かけるようになります。国家試験の勉強のためです。ここで勉強する学生は、「人がいなくて静か。友人と話ができるため分らなかったことを話し合ったり問題を出し合ったりしています」と話してくれました。集中して一人で勉強する時は図書館、友達と内容を深める時はラーニングポッド、と自分の学習スタイルに合わせて場所を選んでいるようでした。教職員は、勉強する学生の姿を見ながら、心の中で「頑張れ」と応援しています。

### 学修環境向上のための新たな取り組み～DX教材の導入～

文部科学省による大学改革推進等補助金「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に本学は採択されました。この事業は、実習機会が制限されるコロナ禍において、実習で修得する能力はもとより従来の実習等では獲得できなかった能力を学生に修得させることを目的としたものです。本学は「ワイヤレス超音波画像診断装置（エコー）」「ハイブリッドシミュレータ」「携帯型タブレットを用いた遠隔実習指導」を新たに導入しました。今回は「ワイヤレス超音波診断装置」について紹介します。

この装置は生体機能をその場で可視化できることが特徴です。採血技術演習では実際に学生の腕にエコーを当て血管の位置等を確認します。従来の触診・視診に比べ、より具体的に安全な採血技術を修得できます。



⇒次回は「ハイブリッドシミュレータ」を紹介します

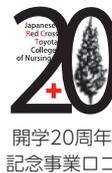
# 05 Information

## 開学20周年記念事業のご案内

本学は1941年の日本赤十字社愛知支部病院救護看護婦養成所に始まり、約80年にわたって赤十字看護師を養成しています。2004年には名古屋市から豊田市へ移転開学し、本年2023年4月に開学20周年を迎えました。2023年度は開学20周年記念事業として、赤十字看護師の未来のために以下の事業を実施いたします。

### 【開学20周年記念事業（学習・学修環境の整備）】

- ①講堂にLEDビジョン設置：全国の赤十字大学をオンラインで繋いで合同事業を実施します。また、他大学や研究機関と連携した公開講座や学術講演会等で地域に還元するとともに地域の方々も利用できる教育研究活動の拠点にします。
- ②赤十字学の立ち上げ：本学保管の古文書を基に近代史の研究者等と「日本赤十字学」を立ち上げ、良質な研究を教育に還元します。
- ③国際性豊かな学生の育成：学生の新たな発見や課題解決のための学習環境の改善をはかり、赤十字大学全体で国際交流を促進できるような仕組みづくりを提案します。
- ④災害教育の環境整備：災害教育の実践を本学の特徴として位置づけ、いつでも誰でもすぐに災害看護に特化した実習に参加できるような環境を整備します。
- ⑤いとすぎプロジェクト：赤十字精神発祥の地から贈られた貴重な糸杉（赤十字のシンボルツリー）が本学に1本残っていることから、挿し木で増やし後世へ残すことを計画しています。



開学20周年記念事業ロゴ



## Event（4月～11月）

### ■ 大学行事

4月	5日（水）入学式	9月	2日（土）第1回大学院入試 23日（土・祝）第2回オープンキャンパス
5月	20日（土）開学20周年記念事業・クラシックコンサート 27日（土）いとすぎ祭（大学祭）	10月	26日（木）開学20周年記念事業・特別講演会 28日（土）第2回大学院説明会
6月	10日（土）第1回大学院説明会 17日（土）第1回オープンキャンパス	11月	11日（土）開学20周年記念式典・防災減災シンポジウム 25日（土）看護学部推薦選抜入試
8月	26日（土）オープンキャンパスmini		

### ■ 専門職向け研修会（医療従事者向け研修会）

日時	講師	テーマ	備考
7月29日（土） 10:00～11:30	東京大学大学院 山本則子先生	臨床における事例検討の進め方とまとめ方（仮）	オンライン (Zoom)
9月9日（土） 14:00～15:30	在宅看護学領域 深谷由美講師	学会発表してみよう（仮）	対面開催
10月14日（土） 13:00～16:00	看護管理学領域 南谷志野准教授	看護職としてのキャリアとwell-being	オンライン (Zoom)

※公開講座は3月に2回開催を予定しております。詳細は次号でお知らせします。

## 入学試験結果（2023年4月入学）

学部	入試区分	定員	志願者数	志願者倍率	受験者数	正規格者数	実質倍率	入学者数
大学独自選抜		40	255 (33)	6.4	252 (33)	122 (11)	2.1	82 (16)
大学入学共通テスト利用選抜（前期A）		6	123 (13)	20.5	123 (13)	33 (1)	3.7	3 (0)
大学入学共通テスト利用選抜（前期B）		6	96 (10)	16	96 (10)	26 (3)	3.7	1 (0)
大学入学共通テスト利用選抜（後期）		6	8 (0)	1.3	8 (0)	1 (0)	8.0	3 (0)
高等学校長推薦選抜		30	31 (2)	1	31 (2)	29 (1)	1.1	29 (1)
赤十字特別推薦選抜		30	16 (1)	0.5	16 (1)	13 (1)	1.2	13 (1)
社会人特別選抜		2	1 (0)	0.5	1 (0)	1 (0)	1.0	1 (0)
計		120	530 (59)	4.4	527 (59)	225 (17)	2.3	132 (18)

学部	入試区分	定員	志願者数	受験者数	正規格者数	実質倍率	入学者数
大学院入試（修士課程）	第1回	10	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	1 (0)
	第2回		3 (0)	3 (0)	3 (0)	1.0	3 (0)
大学院入試（博士課程）	第1回	2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	0 (0)
	第2回		1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	1 (0)

※（ ）内は男子学生数再掲。倍率は小数点以下第二位を四捨五入。

大学院入試（博士課程）定員は北海道・秋田・広島・九州と本学合わせて計10名。令和5年度の本学定員は2名。

## 2023年度 新入教職員

- 成人看護学 教授 カルデナス 暁東
- 一般教養(英語) 准教授 松崎 久美
- 老年看護学 准教授 天木 伸子
- 母性看護学 准教授 岡津 愛子
- 在宅看護学 講師 武田 智美
- 看護管理学 助教 下久保 亮太



- 事務局長 小林 寿
- 学務課 課長 加藤 信子
- 総務課 総務一係長 佐藤 遼
- 情報ネットワーク支援室 係長 岡本 和男
- 総務課 主事 稲垣 玲

## 開学20周年記念事業にかかるご寄付のお願い

本学は2004年に日本赤十字豊田看護大学として豊田市に設立され、2023年4月に開学20周年を迎えました。関係機関のご協力や地域の皆様のおかげをもちまして迎えた記念すべき20周年の記念事業（前ページでご紹介しております学習・学修環境の整備及び教育研究活動の充実）に広くご寄付を受け付けております。

【受付期間】2024年3月末まで随時受け付けております。

【募集金額】個人 寄付金：1口 5,000円（1口以上から受け付けております。）

法人 寄付金：1口 10,000円（1口以上から受け付けております。）

【申込方法】本学ホームページより「寄付申込書」をダウンロードし、所定事項をご記入の上、事務局まで郵送・FAX・メールでお送りをお願いいたします。

【振込先】

（銀行）三菱UFJ銀行 豊田支店 普通 4545333

（口座名）にほんせきじゅうじとよたかんだいがく 日本赤十字豊田看護大学

（信用金庫）豊田信用金庫 朝日支店 普通 1020525

（口座名）にほんせきじゅうじとよたかんだいがくちやうかまくら 日本赤十字豊田看護大学 学長 鎌倉やよい

（郵便振替）00840-8-68673

（口座名）にほんせきじゅうじとよたかんだいがく 日本赤十字豊田看護大学

【連絡先】 日本赤十字豊田看護大学 TEL0565-36-5111 20周年記念事業事務局まで

皆様方からのご厚誼とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 寄付について

募集期間：2022年4月1日～2023年3月31日 寄付総額：6,410,148円

ご芳名：ご寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

新美達也様、荒山裕行様、株式会社名古屋銀行様、豊田クラシックを聴く会様、奥長良川名水株式会社様、

日本赤十字豊田同窓会様、日本赤十字豊田看護大学後援会様

※10,000円以上のご寄付をいただいた方を掲載しております。匿名希望の方は掲載しておりません。

寄付用途：下記の用途などにご寄付を使わせていただきました。

・アカデミックガウン2着 ・高速スキャナー ・演習用モデル人形、胎児超音波心音計の整備 など

ご支援を賜り心より御礼申し上げます。

### ■寄付のお願い

学生に対して十分な教育環境と学生生活の支援を行うことを目的として、日本赤十字豊田看護大学サポーターズ募金“いとすぎ募金”を創設いたしました。皆様からのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【活用方法】

①教育活動の充実 ②研究活動の充実 ③奨学金制度の充実 ④学生生活の支援

⑤施設整備の充実 ⑥社会連携の推進

【金額】

1口5,000円（個人）1口10,000円（法人）※1口から10口程度お申込みいただけますと有難く存じます。

【税制上の優遇措置】本学への寄付金は税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

詳細はホームページをご確認ください。

## 最新情報をチェック！

入試情報やイベント情報などを発信しています。ぜひフォローをお願いします！



## 編集後記

ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大により様々な活動に制限が出ていましたが、2022年度は少しずつ緩和されるようになりました。愛知県赤十字大会が5年ぶりに開催され、日本赤十字社名誉副総裁による本学の御視察も行われました。また、「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に採択され、DX教材を用いた教育を開始することもできました。今後も新型コロナウイルスの発生などにより、大学の教育活動に支障を来す可能性があります。しかし、看護の未来を切り開く学生のために、4年間という限られた学生生活の中で、学びの機会を逃すことがないよう、安全の確保と教育の質向上に努めていこうという思いを強くしたところです。

最後に、37号の発刊に際しまして、ご協力いただきました皆さまに感謝いたします。

## いとすぎの丘 Vol.37

発行日/2023年5月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 (ダイヤルイン)

FAX 0565-37-8558

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <https://www.rctoyota.ac.jp/>